

社会教育

平成26年度

アドバイザー通信

〈第7号〉



1月

新しい年を迎えました。



平成27年1月9日

発行：秋田県教育委員会

編集：中央教育事務所



輝かしい新年の始まりに、新たな希望と夢がふくらみます。

今年の干支「羊」にあやかり、穏やかで平和に暮らせる一年を願って、常に前向きな姿勢と誠意をもち、「一步でも前進する年」を目指したいものです。

さて、県内各市町村教育委員会が実施する生涯学習・社会教育関係事業は、年度の終盤の時期を迎えました。各事業のねらいに基づく評価の視点をもって成果と課題を明らかにすることが、次年度の事業プランの構築につながっていきます。事業運営に独自性を発揮してしめくくりましょう。



今年の干支にちなんで、羊や年賀のスタンプづくりにチャレンジした子どもたちがいます。

五城目町教育委員会生涯学習課
放課後子ども教室
「わらしべ塾」におじゃましました！
(10時～12時10分)



この「わらしべ塾」は、五城目町教育委員会生涯学習課が平成14年度から継続実施している特色ある事業です。

子どもの安全・安心な居場所づくりを目的にして、毎回魅力的で多様な活動を提供しています。

11月22日(土)の活動は、世界に一つだけの「干支のスタンプづくり」でした。五城目小学校の児童10名が参加しました。この日、講師を務めたのは、教育委員会職員の齋藤美樹さんです。さらに、コーディネーターの草皆さん、生涯学習課の石川さん、わらしべ塾事務局の鈴木さんも加わり、チーム体制を整えて指導に当たりました。3年生以上のグループ(6名)と低学年グループ(4名)に分かれ、和気あいあいとした雰囲気の中で活動していました。子どもたちの喜々とした表情が忘れられません。



《参加者の声》

- ☆5年(1さん) ゴム板彫りが一番難しかった。自分で作った「羊」がとってもかわいい。
- ☆5年(Hさん) 自分で作ったスタンプを年賀状に使いたい。友達に送るのが楽しみ。
- ☆3年(Kくん) 難しかったが、とてもおもしろかった。思いどおりのスタンプができた。
- ☆1年(Yくん) 家にいるお父さんに早く見せたい。「すごい!」と言ってくれそう。

◆コーディネーターの草皆 稔 氏 が、常に子どもに声を掛け、個性と自主性を重視しながら見守る姿に、温かさを感じました。



【オリジナルカードが完成】



【お気に入りの作品を手し、全員集合!!】



【1年生も集中力を発揮】



【笑顔の花～満開】

◆「わらしべ塾」の取組には、子どもを育む環境を整備して地域全体で子どもと学校を支え、共に子どもを育てようという考えが根底にあります。コーディネーターや教育委員会の職員、講師が『子どもが主役』という一致した願いをもって運営していることが伝わってくるひとときでした。

中央地区ではどの市町村においても、地域の实情に応じた子育て支援を推進しています。
今回は、昨年10月に秋田市教育委員会が実施したユニークな取組をご紹介します。



★秋田市公民館・市民センター乳幼児学級合同学習会★

実施日：平成26年10月27日（月）
（10時～12時40分）

これは、右記のようなねらいのもとで秋田市内の公民館及び市民サービスセンターで、乳幼児とその親を対象に実施している事業です。今年度で二回目となります。

＜ねらい＞
各公民館および各サービスセンターの乳幼児学級が体験学習を行い、参加者同士の交流を図る機会とする。



【リンゴ狩り体験：秋田市雄和の種沢果樹園にて】

昨年度の反省をもとに改善を図り、市内全施設を二つのグループに分けて実施しました。この日は、公民館（中央公民館・南部公民館）と市民サービスセンター（西部市民センター・河辺市民センター）の乳幼児学級、計60組の親子が元気いっぱいに参加しました。



○最初の体験学習は、リンゴ狩りです。枝から垂れ下がる真っ赤なリンゴをもぎ、親子ではおぼる微笑ましい光景が広がりました。50分があつという間に過ぎ、秋田市の社会教育バスで次の活動場所へ移動です。親子で大型バスに乗ったことも、貴重な体験になりました。



○秋田市河辺総合福祉交流センターでは、持参したお弁当を広げ、大勢で昼食タイムを楽しみました。その後、親子で楽しむ「音楽リトミック」にチャレンジです。講師の石川美代子氏は、乳幼児の関心をひき付ける「遊び歌」をふんだんに盛り込み、参加者同士の交流を目的とした音楽遊びを展開しました。会場いっぱいに、親子の笑い声が響き渡り、心のハーモニーが広がりました。

半日の活動が充実し、本事業のねらいが達成されたことを実感しました。

【講師の石川美代子氏】（写真：左）

♪ 32年間音楽遊びを指導しているベテランの方です。県内では中央地区（秋田市・潟上市・大潟村）を中心に、活躍しておられます。



【秋田市河辺総合福祉交流センターにて】

♪ 各施設で乳幼児学級をサポートしている民生委員・児童委員やボランティアの方たちが、積極的に雰囲気盛り上げてくださりました。子育てを支援する地域の大きな底力が伝わってきました。

◎石川氏は『交流』というねらいを第一にして、子どもたちはもちろんのこと、親も巻き込んで一緒に楽しむことができる歌遊びのメニューを工夫してくださいました。家庭でも親子で簡単にチャレンジできる活動でしたので、帰宅後もこの日を思い出しながら楽しんでいるのではないのでしょうか。

☆本事業の企画運営に関わられた、秋田市の**大山重幸社会教育指導員**に、お話を伺いました。

★ 昨年度の反省を踏まえて改善を加え、秋田市生涯学習室の職員の方々が参加者の安全面等にも配慮しながら、チーム体制を整えて運営している姿が印象的でした。

まずは何とか堪えてくれたお天気と事業の運営に携わった全ての皆様に感謝です。当初のバス配車計画を変更しなければならぬほど大勢の親子やボランティアの参加を得て、会を盛り上げていただきました。今回の体験学習を通して、参加者同士の交流が十分に図られたと感じています。次年度についてはまだ白紙ですが、参加者の感想などを参考にしながら、実施内容を検討していきたいと思っております。